科目名	専門演習Ⅱ　　Seminar II						
科目担当者	川島 秀樹　　KAWASHIMA Hideki						
単位数	4	配当年次	３年	授業形態	実習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)
授業の概要	前期は、データサイエンスの基礎について学ぶ。 後期は、自分の好きなテーマについて、発表と論文作成を行う。						
授業の到達目標	①　データサイエンスの基礎を学ぶ ②　自分の好きなテーマを選んで、研究発表をする。						

授業計画・内容

1	オリエンテーション、情報社会	16	研究計画書作成、論文の書き方
2	データサイエンスと社会、データの収集	17	時事１／日本政治、研究の報告１
3	データ整理と変換、データ分析の可視化	18	時事２／国際政治、研究の報告２
4	統計的推測	19	時事３／日本経済、研究の報告３
5	機械学習の概要	20	時事４／経済政策、卒業研究の報告４
6	回帰による分析	21	小論文演習１
7	分類による分析	22	時事５／財政、研究の報告５
8	クラスタリングによる分析	23	時事６／世界経済、研究の報告６
9	評価と意思決定	24	時事７／厚生、研究の報告７
10	総合演習	25	小論文演習２
11	社会の中の情報システム、情報システム分類	26	時事８／労働、研究の報告８
12	情報システムの開発、設計手法	27	時事９／文部科学、研究の報告９
13	Web システムの仕組み、WebAPI	28	時事 10／環境、研究の報告 10
14	データベースの操作、計測、制御システム	29	時事 11／司法警察、社会問題、論文作成
15	総合演習	30	ゼミ論文作成

授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を一読し、専門用語の意味などを調べておく。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	課題を解いておくこと。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
課題・レポート・発表	80%	①　②　③
平常点	20%	①

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	萩谷昌巳　「情報Ⅱ」　実教出版
参考文献	必要な資料は、適時配布する。
その他	初回から、ノートパソコンと LAN ケーブルを必ず持参すること。 五分の四以上の出席を要件とする。 所定の講義回数を超える欠席については単位を認定しない。